

長野市大豆島地区（エムウェーブ南）
産業用地開発候補地に関する
サウンディング型市場調査の結果について

令和4年2月
商工観光部商工労働課

開発候補地への立地希望、開発希望について、以下のとおり調査を実施

事前質問

受付期限: 令和3年11月1日(月)
実施状況: 提出なし



対話

期間: 令和3年11月30日(火)～令和3年12月10日(金)
参加団体: **15事業者** (立地希望: 12事業者、開発希望: 3事業者)
対話実施方法: 対面方式又はオンライン方式のいずれかにより実施
※事業内容等の説明・質疑応答

(1) 立地希望事業者の主な業種(日本標準産業分類中分類)

食料品製造業、電気機械器具製造業、道路貨物運送業、金属製品製造業、情報サービス業、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業、その他の卸売業、廃棄物処理業

(2) 希望面積

最大16,500㎡、最小1,200㎡

(3) 主な意見

- ・物流面で候補地は魅力がある
- ・長野市内でまとまった工業用地を取得する機会は少ない
- ・分譲価格を安くしてほしい
- ・分譲価格が分からないと立地の検討が困難
- ・立地にあたって、市から助成金などの支援をしてほしい

調査を通じて確認できた内容

- ・長野市ではまとまった工業用地がないことから、候補地の開発は、進出、拡大を検討している事業者にとって好機ととらえられていた。
- ・立地希望面積は、最大で16,500㎡であった。
- ・立地希望面積は、全体では、候補地の相当量が見込まれるが、ほとんどの事業者が、用地購入費への補助などの立地支援策を求めている。

課題と方向性

- ・立地希望事業者については、一定数の参加があり、候補地の産業用地としての潜在力が確認できた一方で、今回の調査では、大規模な立地を希望する事業者はいない。
- ・開発については、用地買収価格、防災対策、販売価格など、未確定要素が見受けられる。
- ・今後は、調査で得られた知見や地権者の意向などを参考に候補地開発の可能性の検討を進めていく。